

お手入れのしかた

エアフィルター・メンテナンスユニット 10年交換不要脱臭フィルター

※各2個ずつあり、左右の区別はありません。

1. 運転を停止し、電源プラグを抜く

2. オープンパネルを取り外す (→26 ページ)

3. メンテナンスユニットを本体より取り外す

- メンテナンスユニット下部の取っ手をつかみ、軽く押しながらかし、少し上へ持ち上げてから手前に取り出す。

4. メンテナンスユニットよりエアフィルターを引き抜く

- エアフィルターの下側をつまんでゆっくり引き抜く。

5. メンテナンスユニット・エアフィルターのお手入れをする

- ホコリなどを掃除機で吸い込む。
- 汚れがひどいときはスポンジや布などのやわらかいものを使用し、中性洗剤を溶かした水かぬるま湯で洗う。洗ったあとはよくすすいでやわらかい布で水分を十分拭き取り、日陰で完全に乾かす。

必要に応じて…

6. 10年交換不要脱臭フィルターを取り外し、お手入れをする

- 本体のつまめから取り出し、ホコリを掃除機で吸い込む。

取り外した場合は…

7. 10年交換不要脱臭フィルターを元の位置に取り付ける (→7 ページ)

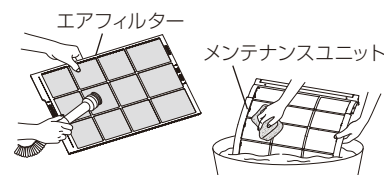
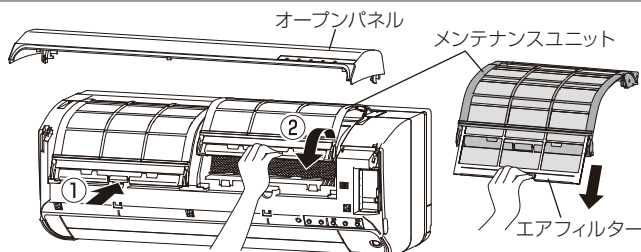
8. エアフィルターをメンテナンスユニットに挿入してから本体に取り付ける

- エアフィルターの(目印線)がメンテナンスユニットのフィルター挿入部上端と合うよう挿入する。
- ※エアフィルター端部がメンテナンスユニットの三角凸部を越えて凹部にはまっていることを確認してください。
- ※目印線がメンテナンスユニットに対して傾いていないことを確認してください。
- メンテナンスユニットは両脇のガイドピンを本体のガイドに沿って奥まで挿入後、元の位置に取り付ける。

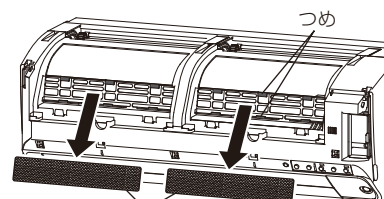
9. オープンパネルを取り付ける (→26 ページ)

10. 電源プラグを差し込む (エアフィルター位置のリセット)

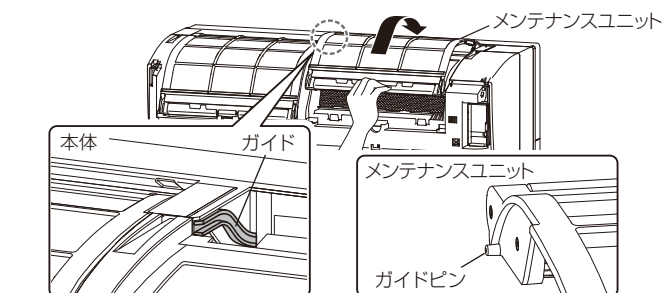
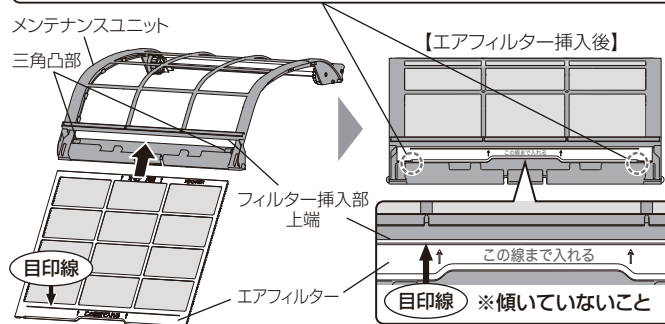
- 約5分間エアフィルターがメンテナンスユニット内で上下にゆっくり動き、エアフィルターの初期動作(エアフィルター位置のリセット)がおこなわれます。(→7 ページ)



エアフィルターを洗ったときは平らな場所で乾かしてください。洗濯ばさみなどで干したりしないでください。(変形の原因となり、フィルターおそうじ運転が正常におこなえなくなります。)



10年交換不要脱臭フィルター



お願い

- エアフィルターを本体より直接引き抜かないでください。(破損の原因)
- エアフィルターやメンテナンスユニットを取り扱うときは強い力を加えたり、分解しないでください。(破損の原因)
- エアフィルターの動作中はさわらないでください。(けがの原因)
- 本体内部にたまったホコリを取るために棒などの細いものを入れないでください。

お知らせ

〈エアフィルターのお手入れについて〉

- 「フィルター自動おそうじ」設定が **切** になっている場合は、2週間に1度はお手入れしてください。
- 「フィルター自動おそうじ」設定が **入** になっていても、ご使用条件や環境によって汚れが取りにくくなる場合があります。特に台所などの油やタバコのヤニが気になるときは、エアフィルターを外して早めのお手入れをおすすめします。
- 長期間「フィルター自動おそうじ」設定を **切** の状態で使用してから設定 **入** にする場合は、一度エアフィルターのお手入れをしてから切り換えてください。

ダストボックス

※ダストボックスは2個あり、左右の区別はありません。

お手入れ時期になると本体表示部のおそうじランプ [緑] が遅い点滅でお知らせします。(→22 ページ)

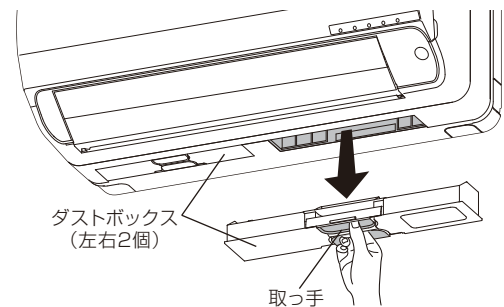
1. 運転を停止し、電源プラグを抜く

2. 取り外す

- ダストボックス底面の中央取っ手をつまみ、ゆっくり真下に引き抜く。

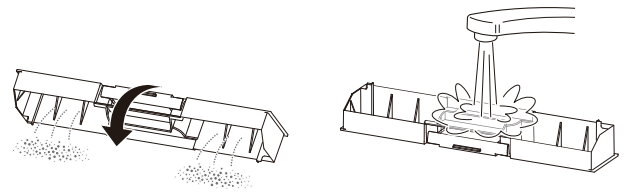
お願い

- ダストボックス内のホコリがこぼれないよう傾けたりしないでください。



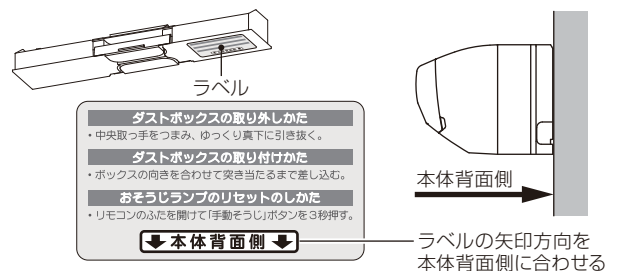
3. お手入れする

- たまったホコリやチリを捨てる。
- 汚れがひどいときはスポンジや布などのやわらかいものを使用し、中性洗剤を溶かした水かぬるま湯で洗う。洗ったあとはよくすすいでやわらかい布で水分を十分拭き取り、日陰で完全に乾かす。



4. 取り付ける

- ダストボックス底面のラベルを見て、室内ユニットの本体背面側とボックスの向きを合わせて突き当たるまで差し込む。



5. 電源プラグを差し込む

- ※おそうじランプ [緑] が点滅していない場合 (早めのお手入れをしたとき) は、これで作業完了です。

6. リモコンのふたを開け、**手動そうじ** を3秒押す

- おそうじランプ [緑] の点滅が消えます。



お知らせ

- お手入れ時期のお知らせは、エアコンの運転時間が約 10,000 時間経過後 (標準的なご使用で約5年後) におこなわれます。
- ダストボックスの汚れが気になるときは、早めのお手入れをおすすめします。
- ご使用状況により、ブラシでかき出されたホコリがダストボックスに回収されるまで時間がかかる場合があります。ダストボックスにホコリがたまっていても故障ではありません。
- 本体内部にたまったホコリを取るために棒などの細いものを入れないでください。

長期間使わないとき

- エアフィルター・メンテナンスユニット・10年交換不要脱臭フィルター・ダストボックスを確認して汚れていたらお手入れをし、元通りに取り付ける。
- 内部乾燥運転をして室内ユニット内部を乾燥させる。(→24 ページ)
- 内部乾燥運転終了後、電源プラグを抜く。
- リモコンの乾電池を取り出す。(→7 ページ)

使い始めるとき

- エアフィルターが汚れていないか確認する。
- 室内ユニット・室外ユニットの吸込口や吹出出口がふさがっていないか確認する。
- アース線が断線したり、外れていないか確認する。(アースが不確実な場合、故障や漏電のときに感電の原因になります。アース工事は、お買い上げの販売店または専門業者にご依頼ください。)
- ドレンホースの排水口がふさがっていないか確認する。
- 電源プラグを差し込む。
- リモコンに乾電池を入れる。(→7 ページ)